

# hiFace

## ドライバ インストール ガイド (Windows XP、Vista、7)

本書には hiFace のドライバをインストールする手順が記載されています。

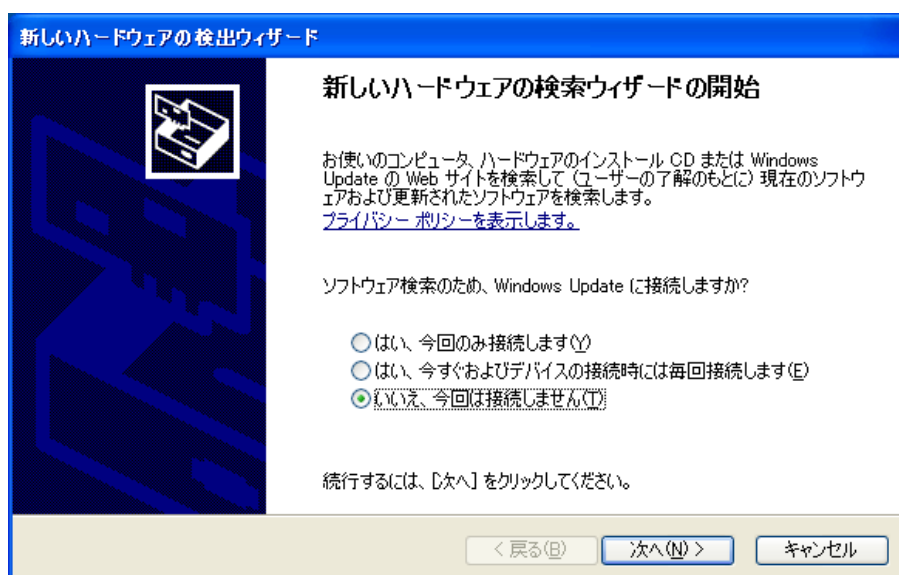
hiFace を初めてパソコンに接続するときには、ドライバのインストールが必要です。最新のドライバは、M2TECH 社もしくは zionote 社のウェブサイトからダウンロードしてください。ドライバは zip 形式に圧縮されているので、解凍してください。ネットに接続出来る環境がない場合は、付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れてください。

注意：付属の 8cm CD をスロット・イン・タイプの光学ドライブに入れしないでください。CD が取り出せなくなります。

M2TECH 社のウェブサイト <http://www.m2tech.biz/download.html>

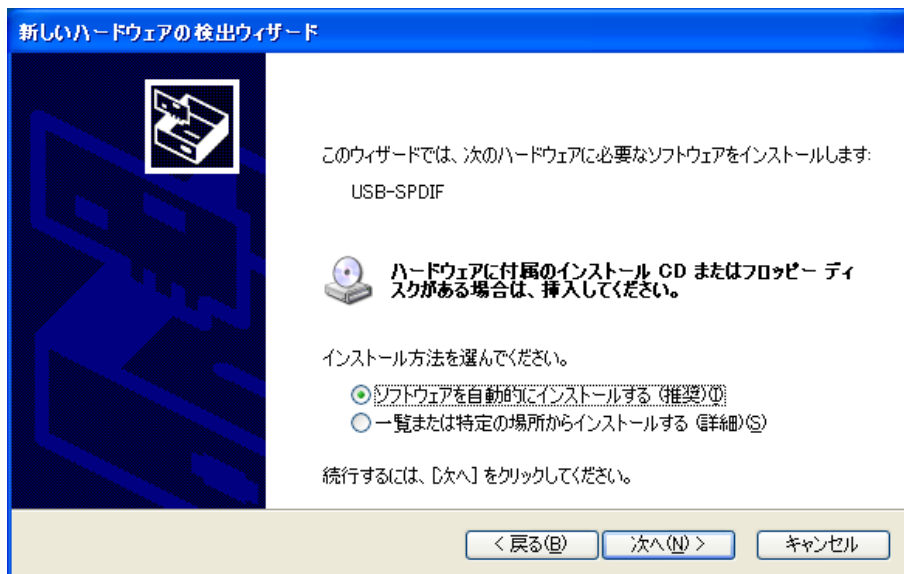
zionote 社のウェブサイト <http://www.zionote.com/m2tech.html>

hiFace をパソコンの USB ポートに接続してください。次の画面がモニタに現れます。



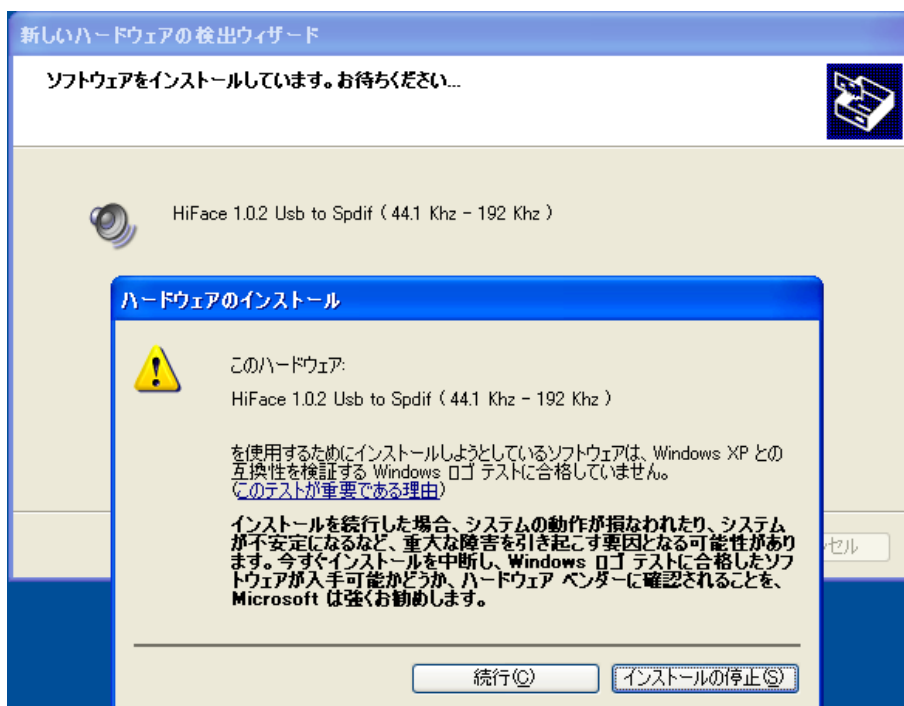
「いいえ、今回接続しません」を選択し、「次へ」をクリック

下図のメッセージが表示されます。



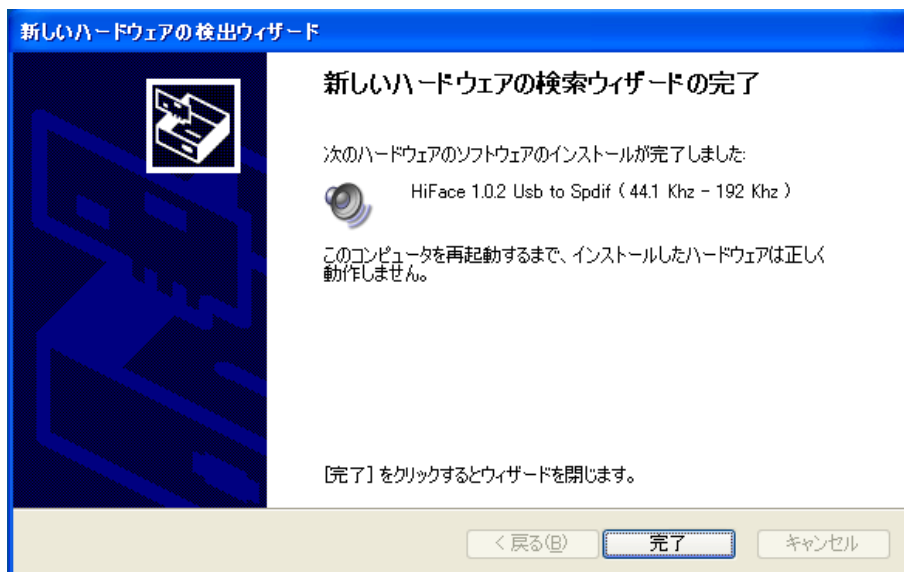
「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し「次へ」をクリックしてください。

ここで OS はドライバを見つけるために自動検索を始めます。OS とドライバのバージョンによっては下図のメッセージが表示されることもあります。



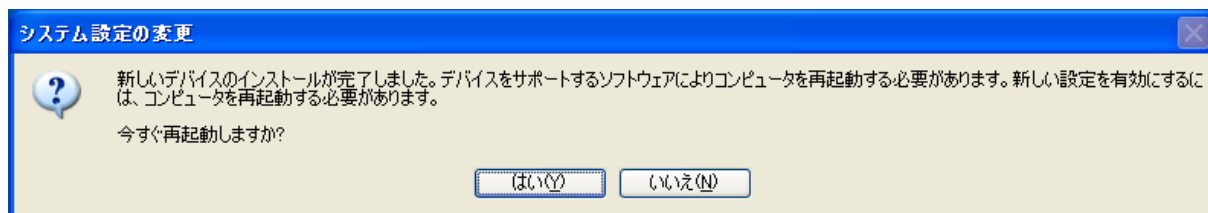
「続行」を選択しインストールが完了するのを待ちます。

ドライバがインストールされると、下図のメッセージが表示されます。



「完了」をクリックすると hiFace が使えるようになります。

OS のバージョンによっては、コンピュータの再起動を求められます。



「コントロールパネル」 > 「サウンドとオーディオデバイス」 > 「オーディオ」で下図のように、「音の再生」 > 「既定のデバイス」に M2 T e c h H I F A C E を選択すると、どの再生ソフトでも hiFace をダイレクト・サウンド・モードで使用することができます。



ドライバ・リリース 1.02 以降をインストールして、ダイレクト・サウンド・モードが選択されていればどの再生ソフトでも hiFace は使えます。しかしながら、最高の音質で再生するためにはカーネル・ストリーミング・モードで使用してください。この場合、再生ソフトは FooBar (kernel streaming DLL が必要)、Winamp、もしくは Media Monkey (Steve Monk's plug-in for kernel streaming が必要) を使用しなくてはなりません。

一例として、FooBar のインストール手順を以下に記載します。

下記のウェブサイトから最新の FooBar をダウンロードしてください。

<http://www.foobar2000.org/download>

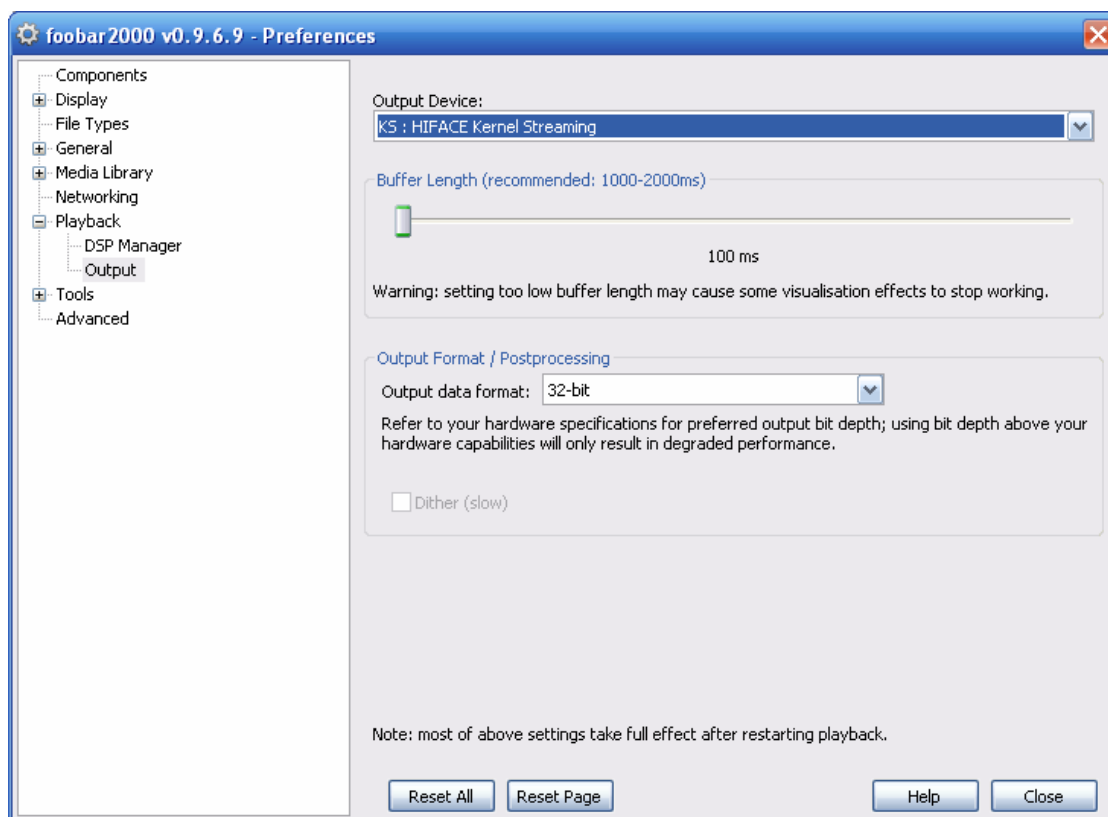
また、カーネル・ストリーミング・モードでの再生に必要な「foo\_out\_ks.dll」を下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

[http://www.foobar2000.org/components/view/foo\\_out\\_ks](http://www.foobar2000.org/components/view/foo_out_ks)

注意 : foo\_out\_ks.dll は foobar2000 フォルダ内の components フォルダにコピーしてください。

FooBar をインストールして、foo\_out\_ks.dll を components フォルダにコピーしたら、以下の指示に従って FooBar の設定をしてください。

hiFace を接続し、FooBar を起動してください。ファイル・メニューから「Preferences」を選択すると、下図のウィンドウが現れます。「Output」を選択して下図の設定画面を開いてください。



Output Device 欄は「KS:HIFACE Kernel Streaming」を選択してください。  
Buffer Length 欄はカーソルを一番左にし、バッファ・サイズを最小にしてください。  
Output Format 欄は 32-bit を選択してください。

注意 : hiFace は 16-bit と 24-bit でも動作します。32-bit を選択するのは CPU 負荷を最小にする一番良い方法です。

「Close」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

注意 : hiFace がパソコンに接続されていないときは、「KS:HIFACE Kernel Streaming」が表示されません。したがって、FooBar を設定する前に必ず hiFace を接続してください。

### ドライバの更新

ドライバ・リリース 1.01 以降には、setup.exe が含まれており、ドライバのインストールと更新が自動で行われます。setup.exe を使用するときには、hiFace をパソコンに接続する必要がありません。hiFace をパソコンに接続したままドライバのアップデートをしたときには、hiFace を抜き差しして、パソコンに新しいドライバを読み込ませてください。